

修正ファイル（クライアントシステム）のセットアップ手順書

クライアント側のシステムをインストールした全てのパソコンについて、以下の手順にて修正ファイルをセットアップしてください。

【注意】 Windows7環境で適用する場合は、ダブルクリックではなく右クリックメニューの「管理者として実行」にて実行してください。

(1) ダウンロードしたファイルを実行すると以下の画面になります。



次へ をクリックします。



クライアント側をインストールしたドライブが Cドライブの場合は 次へ をクリックします。

Cドライブ 以外の場合は、変更 をクリックしてドライブを変更します。

【注意】 インストール先を変更する場合は、ドライブのみ選択してください。（例 D:¥）

システムが実行中の場合は終了してから操作してください。



インストール をクリックします。

- (2) セットアップが開始されます。
インストールが自動で行われ、終了メッセージが表示されます。



FKS/FN Ver.6.0 ソフトウェア修正情報

NO.	項目	内容								
			13	14	15	16	17	18	19	
77	仕上拾い	増減式の後括弧が前括弧より多いとき、エラーにならない。	○							
78	外部入出力	Ver6.0標準CSV出力した物件をVer5.5、Ver5.0で入力するとメモリ記号が正しく変換されない場合がある。	○	○						
79	チェック計算	仕上拾いの増減式に建具記号が小文字で入力されているとチェックでエラーにならない。	○	○						
80	チェック計算	仕上拾いの増減式に未定義の部屋形状寸法記号を使用してもチェック処理でエラーにならない場合がある。 Ver.6.0.0015以前に作成している物件は、チェック計算実施前に一度仕上部屋一覧で編集モードに切替えした後にチェック計算の実施をお願い致します。	○	○	○					
81	仕上拾い	仕上拾いで仕上表参照画面を開き、画面全体を最小化して仕上表参照画面のみ元のサイズに戻すと表示が不正になる。	○	○	○	○				
82	仕上拾い	仕上表参照画面を前回閉じたときと同じ位置、同じサイズで開くようにしました。	○	○	○	○				
83	建具Excel取込	建具Excel取込で、材料名称と規格名称が取り込みされない。	○	○	○	○				
84	建具Excel取込	建具Excel取込で、建具廻りの寸法、形状が未入力するとき、建具本体面積ではなく1がセットされる。	○	○	○	○				
85	建具拾い	建具拾い付属材の入力で個所欄を0にすると画面の合計数量は0になるが、計算を実行すると建具集計表、科目別集計表で数量が計上されてしまう。	○	○	○	○	○			
86	仕上拾い	建具参照画面で表示される建具面積の形状パターンが9~12の場合に正常に計算されていない。(増減式に建具記号をセットした際には正常に計算されます)	○	○	○	○	○			
87	仕上拾い	建具参照画面で建具が500行以上表示されない	○	○	○	○	○			
88	科目別編集	規格名称が半角61文字以上の明細を別科目に移動した場合、仕上表の科目コードが更新されない。	○	○	○	○	○			
89	印刷	仕上計算書の範囲指定で、仕上区分を選択後に階が選択できない場合がある。また、概要2で仕上区分を入力し仕上区分を一まとめで拾っている場合に階や部屋を指定できない。	○	○	○	○	○			
90	印刷	一式印刷にて、建具集計表を材料区分を範囲選択してプレビューしたとき、印刷ボタンの範囲指定の開始終了値が0になっている。	○	○	○	○	○			
91	仕上拾い	階入力欄にてGGまたはZZを入力できてしまう。	○	○	○	○	○	○		
92	仕上拾い	部屋一覧画面でDELキーによる部屋削除を操作するとエラーになる場合がある。	○	○	○	○	○	○		
93	部位別集計編集	数量編集の増減式を1024バイトにしました。	○	○	○	○	○	○		
94	部位別集計編集	数量編集時にエラーになる場合がある。	○	○	○	○	○	○		
95	科目別集計編集	規格複数データの文言変更した場合、別仕上も同時に変更される場合がある。(リスト内に別仕上で規格複数行が同一のデータ)	○	○	○	○	○	○		
96	建具計算書	建具一括入力画面でWH個所を変更した場合、計算書が変更されない場合がある。	○	○	○	○	○	○		
97	仕上計算書	増減式にA*Bと入力した場合、数値だけが印刷される場合がある。	○	○	○	○	○	○		

※ ○印がお使いの製品バージョンによって発生する現象になります。

製品バージョンは、処理メニューのオプションより確認することができます。



インストール後は、0019になります。

※ 今回の修正版をインストール後、上記現象に該当する物件を再計算すると、前回の結果と異なった数量が算出されます。

ただし前回バージョンのプログラムは、¥FKS6¥FN¥SYSTEMのフォルダ内にFKSFN60_0000000.EXE というファイル名で自動保存されます。(○は製品バージョンのファイル日付を表します。)

前回と同じ結果にしたいという場合には、このEXEファイルをショートカットに割り当ててシステム運用してください。